

日港労連・港荷労協 26春闘 速報第2号

(発行元) 日本港湾労働組合連合会書記局・港湾荷役事業関係労働組合協議会事務局

住所 144-0052 東京都大田区蒲田 5-10-2 日港福 3 階 電話 03-3732-5503

ホームページ <http://nikkororen.jp/> (発行人 古澤 隼実)

2/27 第2回港荷交渉、港荷経協・港荷労協一体となり 荷主・ユーザーからの適正な作業料金収受に向けて邁進する！

1. 第2回港荷交渉を2月27日 11:00 より神戸ポートオアシス 5 階大会議室に於いて開催した。
冒頭堀家労務委員長より、開催の挨拶があった。
2. 業側より前回の交渉で要求書の趣旨説明を受け各港持ち帰り、現在は各地区各店社検討段階との報告があった。賃金並びに全項目に対して現在精査中の為、本日回答を差し控えさせていただくと回答があった。
3. 竹内議長より、近々の運動についての報告があり、取適法の改正の内容や、3月の中央行動、2月17日開催された全国港湾労政懇話会の内容についての報告があり今回の春闘はユーザー荷主から適正な料金収受が取れないのであれば、今回の春闘は解決に至らないと、強い意志を表明された。
合わせて、日港協がどう対応するかが問題ではあるが、全国港湾・港運同盟として連携を行って行き、港荷労協として更に主張していく考えがあるとした。
4. 労側としては、全力での大幅賃上げ・適正な作業料金収受に向けて全力で運動中であり、港荷労使として15%以上4万円以上の要求はとても大きな取り組みと認識している。
港荷労協・港荷労使一体となり今春闘を勝ち取ると決意を表明した。
5. これを受け、業側としても次回までには前進した回答が出来るように努力していきたいと発言があった。
6. 次回、第3回港荷労使交渉を3月12日(木)中央港湾団交終了後よりパーク芝浦にて開催することを確認し、第2回港荷労使交渉を終了した。